



トレードシークレット・マネージャー

戦略的な営業秘密保護と技術流出防止を実現
「営業秘密マネジメント」のプロフェッショナル！

養成講座

1. 企業における「営業秘密マネジメント」の重要性と必要性

企業の技術競争力に関わる営業秘密、個人情報などの重要な情報が漏えいする事件が後を絶たない昨今、各企業においては企業の規模や業種を問わず、自社がもつ情報の管理体制の見直しや流出防止策の策定が重要視されており、喫緊の課題となっています。2014年6月には首相官邸知的財産戦略本部による「知的財産推進計画2014」にて「営業秘密保護の総合的な強化」が最重要5本柱のひとつとして定められ、また経済産業省においては営業秘密管理指針を作成するなど、政府としても国内企業がもつ営業秘密の流出について最優先課題の一つとしてとらえており、企業における「営業秘密マネジメント」が日本国内経済の発展及びグローバル市場における競争力の強化に大きくかかわるといっても過言ではありません。しかし、多くの企業において、「営業秘密マネジメント」が実現できていないというのが現状のようです。

2. 「営業秘密マネジメント」が実現できない原因

当協会において、企業および専門家にヒアリングを実施したところ、「営業秘密マネジメント」が実現できていない原因は、下記の3つに集約できるのではないかと仮説に至りました。

理由1：重要性は認識していても実行策の種類あるいはその最適な組み合わせが分からない

- 経営陣は営業秘密の重要性は理解しているものの、実行策の種類がわからない場合や、実行策がわかっている場合でもコストや業務効率とのバランスから、何をどこまでやるべきかの意思決定ができない場合がある(図1)

理由2：組織的理由

- 営業秘密が複数の部署に関連しており、さらに各部署が縦割り組織である

理由3：明確な責任者の不在

- 組織的な理由もあり、実行策を社内横断的にマネジメントできる人材が不足もしくは不在である



図1：企業における課題

営業秘密マネジメントに関わる企業の部門としては、主として法的側面に関わる知財部門・法務部門、情報セキュリティに関わる情報システム部門、人材マネジメントに関わる人事部門などが挙げられますが、現状多くの企業においては組織構造が縦割りであり、実際に実行策を社内横断的にマネジメントできる人材が不足もしくは不在というのが現状です。各部署が各部署の目線だけで業務を進めると、「部分最適」に陥ることもあり、どの部署も気付けない穴が生じてそこから事故が発生するという恐れもあります。企業がそのような危機に陥らないためにも、「営業秘密マネジメント」を推進し、「全体最適」を実現できる人材が不可欠です。

3. トレードシークレット・マネージャーとは

今企業で求められているのは、「営業秘密」、「情報セキュリティ」、「人材マネジメント」という3領域を俯瞰し、かつ統合的な観点で管理体制を構築し、戦略的観点から企業がもつ営業秘密を適切に守り、活用するための組織横断的なマネジメントスキルを持つ人材を育成し、経営を推進していくことです(図2)。

「トレードシークレット・マネージャー」とは、各企業においてオープン&クローズ戦略等の経営戦略を理解した上で、公開すべき情報と秘匿化(ブラックボックス化)すべき情報の仕分け基準を事前に設計し、営業秘密の保護・技術流出の防止を社内横断的かつグローバルな観点でマネジメントするいわゆる「営業秘密マネジメント」ができる人材です。

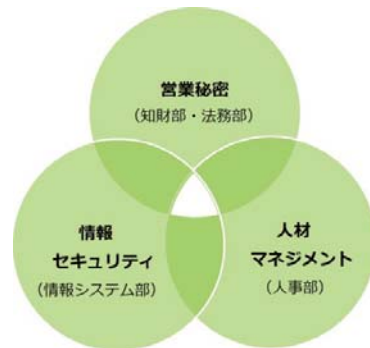


図2：営業秘密マネジメントの3領域

4. どのような人が目指すべきか

企業の営業秘密を保護し、技術流出を防止することを担う企業内の人材ばかりでなく、各企業のコンサルティングを行う、企業外で活動する方々も身につけるべき知識・スキルです。

- 企業内において「営業秘密マネジメント」について責任を負うべき人 あるいは希望する人
大企業役員、経営戦略・経営企画部門責任者、中小企業・ベンチャー企業等の経営者、知的財産管理技能士、企業内各部門責任者(知財部門 法務部門 情報システム部門 人事部門 標準化部門 商品開発部門・製造部門 営業部門 施設管理部門 プロジェクト・マネージャー 等)
- クライアント企業における「営業秘密マネジメント」を提案し、もしくは委託をうける事業に従事する人
弁護士、弁理士、経営コンサルタント 等

5. 「トレードシークレット・マネージャー」になるには

「トレードシークレット・マネージャー」になるには、「トレードシークレット・マネージャー養成講座」を受講し、「課題レポート」を提出し受理される必要があります。

「トレードシークレット・マネージャー養成講座」は経営戦略に基づいた営業秘密の公開/秘匿化の判断ができ、かつ人材マネジメント、情報セキュリティなど、組織横断的な知識と能力を身に付ける、今までに類をみない講座です。しかも、本講座では、営業秘密管理に関する知識を得ることのみならず、仮想事例に基づいた学習型ケーススタディ・ワークショップも導入しています。これにより仮想の具体的施策・指針・契約書等について、コストと業務効率も考慮要素に入れつつグループディスカッションを行って批判的かつ建設的に検討することができ、また、講座で得た知識等を再確認し、講座修了により、自社の実効的な「営業秘密マネジメント」施策の策定・修正・改善提案等ができる人材を育成します。また、本講座の各科目においては専門領域のエキスパートである講師を数多く招聘し、専門的知識のみならず企業における具体的な事例を学ぶとともに実践に活かすことができる能力を身に付けられます。

◆同席受講制度

企業において戦略的な営業秘密保護や技術流出防止を実行するにあたっては、その責任者として実務にあたる「トレードシークレット・マネージャー」だけでなく、経営陣が「営業秘密マネジメント」の本質を理解し、「トレードシークレット・マネージャー」が活躍しやすい環境を作ることが重要です。そこで、経営陣に理解いただきたい内容について解説を行う第1日目について、役員・役職者の方が受講者と同席して受講いただける制度を設けております。

- ・同席対象講義：第1日目の講義(経営戦略と営業秘密、戦略、リスクマネジメント、人材マネジメント)
- ・同席対象者：受講者の所属する企業の役員・役職者/同席可能人数：1名
- ・同席者受講料：45,000円(税込)

◆修了証の交付

全科目を受講し、課題レポートが受理された方には修了証を発行します。

【講座実施概要】

日程	全4日間 4科目11講義 1日目：2014年10月1日(水) 10:30～19:00 2日目：2014年10月15日(水) 10:30～18:30 3日目：2014年10月29日(水) 10:30～17:30 4日目：2014年11月12日(水) 10:30～17:30(終了後懇親会実施予定)								
会場	金沢工業大学 虎ノ門キャンパス(東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル)								
受講料	150,000円(税込) 下記に該当する方は受講料割引適用により、下記の受講料にて受講できます。 <table border="1"><thead><tr><th>資格等</th><th>受講料</th></tr></thead><tbody><tr><td>1：知的財産管理技能士会 会員</td><td>140,000円(税込)</td></tr><tr><td>2：知的財産アナリスト(特許/コンテンツいずれか)</td><td>140,000円(税込)</td></tr><tr><td>3：上記1. 2の両方を満たす方</td><td>130,000円(税込)</td></tr></tbody></table>	資格等	受講料	1：知的財産管理技能士会 会員	140,000円(税込)	2：知的財産アナリスト(特許/コンテンツいずれか)	140,000円(税込)	3：上記1. 2の両方を満たす方	130,000円(税込)
資格等	受講料								
1：知的財産管理技能士会 会員	140,000円(税込)								
2：知的財産アナリスト(特許/コンテンツいずれか)	140,000円(税込)								
3：上記1. 2の両方を満たす方	130,000円(税込)								
受講対象者	・企業内において「営業秘密マネジメント」について責任を負うべき人あるいは希望する人 ・クライアント企業における「営業秘密マネジメント」を提案し、もしくは委託をうける事業に従事する人 ※ 知的財産管理技能士の資格をお持ちでない方でも受講いただけます								
定員	40名								
申込受付期間	2014年9月1日(月) 15:00～2014年9月19日(金) 15:00(予定)								

※同席受講をご希望の際は、別途同席者受講料が必要です。

トレードシークレット・マネージャー養成講座

主催：一般社団法人 知的財産教育協会

詳細・申込・お問い合わせはウェブサイトから <http://ip-edu.org/tsm>



知的財産教育協会
Association of Intellectual Property Education

トレードシークレット・マネージャー養成講座 講義カリキュラム 1日目 (2014年10月1日)

<p>時間割</p> <p>10:10 受付</p> <p>10:30 オリエンテーション</p> <p>10:40 ご挨拶 (知的財産教育協会)</p> <p>11:10</p> <p>0: 経営戦略と営業秘密 (概論)</p> <p>講師: 渡部 俊也 氏</p> <p>講義時間: 1.5時間</p> <p>12:40</p> <p>昼休憩</p> <p>13:40</p> <p>2: 戦略</p> <p>講師: 小林 誠 氏</p> <p>講義時間: 2.0時間</p> <p>15:40</p> <p>休憩</p> <p>15:50</p> <p>1: リスクマネジメント</p> <p>講師: 肥塚 直人 氏</p> <p>講義時間: 1.5時間</p> <p>17:20</p> <p>9: 人材マネジメント</p> <p>講師: 肥塚 直人 氏</p> <p>講義時間: 1.5時間</p> <p>18:50</p> <p>講義終了 各種連絡</p> <p>19:00</p>	<p>経営戦略と営業秘密 (概論)</p> <p>経営戦略における営業秘密保護の位置づけと実践のフレームワーク</p> <p>講師</p> <p>渡部 俊也 氏</p> <p>東京大学政策ビジョン研究センター 教授</p> <p>企業経営戦略 (全社戦略および事業戦略) における営業秘密保護の位置づけを理解するとともに、どのような考え方で営業秘密保護のマネジメントの実践に結び付けていけばよいかについて議論を行う。</p> <p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の経営戦略と知的財産管理の関係 知的財産管理の3要素と営業秘密保護 営業秘密保護に関するファクトと国内の政策動向 場面毎の営業秘密保護の具体的な施策: M & A、研究開発、海外進出など まとめ 	<p>リスクマネジメント</p> <p>技術流出リスクのマネジメント</p> <p>講師</p> <p>肥塚 直人 氏</p> <p>三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 知的財産コンサルティング室 主任研究員 博士 (法学)</p> <p>営業秘密を含む技術情報等の流出に対して、情報セキュリティの強化や契約書の見直しといった個別の対策を講じても効果が限定的であったり、費用対効果の悪い対策となってしまうことが多い。これは全社的なリスクマネジメントの観点から不足していることに原因があり、本講義では体系的な技術流出リスクのマネジメントについてご理解いただく。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 技術流出の実態 技術流出リスク対策に求められる全社的なリスクマネジメント 考え方 リスクの把握と対応方針の検討 リスク管理体制 契約管理 質疑応答 	<p>戦略</p> <p>トレードシークレット・マネジメント戦略 - 営業秘密の有効な保護と活用 -</p> <p>講師</p> <p>小林 誠 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 知的財産グループ ヴァイスプレジデント K.I.T.虎ノ門大学院 (金沢工業大学大学院) 客員教授 AIPPE認定知的財産アナリスト</p> <p>経営戦略と知的財産戦略及びトレードシークレット・マネジメント戦略の関連性を紐解き、営業秘密の戦略的な管理・活用方法について解説する。特に、市場拡大と利益確保の観点からオープン&クローズ戦略の考え方と重要性を解説するとともに、昨今の海外進出における営業秘密管理や知的財産の複合的保護の事例を紹介する。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 経営戦略・知的財産戦略・トレードシークレット・マネジメント戦略 オープン&クローズ戦略 オープン/バージョンモデルとクローズド/バージョンモデル 市場拡大と利益確保 (グローバル権利化、標準化、ブラックボックス化) 海外進出におけるトレードシークレット・マネジメント 知的財産の複合的保護 (知財ミックス戦略) 質疑応答
---	---	---	---

※この講座カリキュラムは2014年9月1日現在のものです。内容は予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

一般社団法人 知的財産教育協会

トレードシークレット・マネージャー養成講座 講義カリキュラム 3日目 (2014年10月29日)

<p>時間割</p> <p>10:10 受付</p> <p>10:30 オリエンテーション</p> <p>10:40</p> <p>8: 情報セキュリティ</p> <p>講師: 雲野 康成 氏 大沼 千秋 氏</p> <p>講義時間: 2.0時間</p> <p>12:40</p> <p>昼休憩</p> <p>13:40</p> <p>5: 秘密保持契約</p> <p>講師: 牧 虎彦 氏</p> <p>講義時間: 1.5時間</p> <p>15:10</p> <p>6: 企業の実例</p> <p>講師: 牧 虎彦 氏</p> <p>講義時間: 2.0時間</p> <p>※途中10分休憩有</p> <p>17:20</p> <p>講義終了 各種連絡</p> <p>17:30</p>	<p>情報セキュリティ</p> <p>情報セキュリティ</p> <p>講師</p> <p>雲野 康成 氏</p> <p>株式会社ブロードバンドセキュリティ SCビジネスユニット ディレクター PCI SSC認定QSA 公認情報セキュリティプロフェッショナル(CISSP) 公認情報システム監査人(CISA) 日本カード情報セキュリティ協議会(JCDSC) QSA部会メンバー</p> <p>大沼 千秋 氏</p> <p>株式会社ブロードバンドセキュリティセキュリティサービス ビジネスユニット SSテクノロジー & サービス部 部長 テクニカルエンジニア(NW) PCI SSC認定QSA 公認情報セキュリティプロフェッショナル(CISSP) 日本カード情報セキュリティ協議会(JCDSC) OSA部会メンバー</p> <p>「情報セキュリティ=IT」という印象が強い情報セキュリティの分野ですが、「情報セキュリティ=IT」は誤りです。情報セキュリティは①「人(組織)と②「ルールを基に人(組織)が作り出すプロセス③「人・プロセスを支援するシステム」の3要素が不可欠です。本講義では、「企業のルールや業務プロセスに対する情報セキュリティ評価」システムの脆弱性診断とコンサルティングに携わる第一人者が情報セキュリティ用語集を座右に、実際の現場体験と情報セキュリティハズオンチェックを繰り返しながら、ご聴講の皆様が明日から使える情報セキュリティ講座をお届けします。</p> <p>講義内容</p> <p>情報セキュリティのCIA (一般論) リスク対応 (一般論) と情報セキュリティ 人・プロセス・システムの三要素 重要データの保護とマッピング 良いお手本集を使いましょう 自らの平熱は? 365日ログマネジメントの日常化 フォレンジック/ドアー/監視の保全 最初の一步 ハズオンチェック</p>	<p>秘密保持契約</p> <p>秘密保持契約 (NDA/NDL, CA/SA)</p> <p>講師</p> <p>牧 虎彦 氏</p> <p>月島機械 (株) 取締役 兼 執行役員 企画・管理本部長 日本ライセンス協会 理事・財務局長 (元副会長) 弁理士会e-learning 講師 月島工業会 会長</p> <p>内容: 秘密保持契約の解説に始まり、最近の傾向、共同開発検討の際に用いられる特殊な秘密保持契約等を紹介する。 ねらい: 和文、英文のサンプルを使用し、特に英文秘密保持契約 (NDA) を学習することにより、この受講者が提示されたNDAにコメントを作成することができ、またそれ複雑でないNDAのドラフトを作成できるレベルに達することを旨とする。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 秘密保持契約とは 1) 概要 2) 目的 3) 事例 サンプルの提示 4) 英文秘密保持契約の解説 最近の傾向 1) 例外事項の拡大 2) 使用目的の緩和 特殊な秘密保持 (共同開発検討の為の開示) 	<p>企業の実例</p> <p>企業の実例</p> <p>講師</p> <p>牧 虎彦 氏</p> <p>月島機械 (株) 取締役 兼 執行役員 企画・管理本部長 日本ライセンス協会 理事・財務局長 (元副会長) 弁理士会e-learning 講師 月島工業会 会長</p> <p>内容: 技術会社の基本となるオープン/クローズの考え方、及びクローズ戦略における技術情報流出の例と防止対策を解説する。以下を含む: i) 特許ノウハウ、ii) 漏洩問題、iii) 契約終了時の措置、iv) コンタミネーション、v) 情報開示ガイドライン。 ねらい: 受講者は、企業における秘密情報の取り扱い、情報流出防止策、対処法等の実務を理解し、担当者として実施すべき基本的事項を把握できる。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 技術情報・営業秘密 (ノウハウ) の保護、活用、管理の基本的考え方 技術流出とその防止策 1) 特許出願に於ける潜在的技術流出 2) ノウハウ、ライセンス契約における情報の漏洩と防止策 3) 違反の場合の情報開示先への対応、フレーム (法的手段を取る前) 4) 契約終了時の措置 コンタミネーション (技術混入) への留意 情報開示と情報開示ガイドライン 1) 情報開示 2) 段階的開示 3) 技術開示の為のガイドライン 社内体制と人的管理
---	---	--	--

※この講座カリキュラムは2014年9月1日現在のものです。内容は予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

一般社団法人 知的財産教育協会

トレードシークレット・マネージャー養成講座 講義カリキュラム 2日目 (2014年10月15日)

<p>時間割</p> <p>10:10 受付</p> <p>10:30 オリエンテーション</p> <p>10:40</p> <p>3: 法律・判例・管理指針</p> <p>講師: 岐島 正洋 氏 高瀬 亜富 氏</p> <p>講義時間: 3.0時間</p> <p>13:40</p> <p>昼休憩</p> <p>14:40</p> <p>4: 理論と実践</p> <p>講師: 岡田 大輔 氏</p> <p>講義時間: 3.5時間</p> <p>※途中10分休憩有</p> <p>18:20</p> <p>講義終了 各種連絡</p> <p>18:30</p>	<p>法律・判例・管理指針</p> <p>技術情報の「営業秘密」としての法的保護 ~その必要性、合理性~</p> <p>講師</p> <p>岐島 正洋 氏</p> <p>弁理士法人内田・岐島法律事務所 弁理士・弁理士 AIPPE認定知的財産アナリスト</p> <p>高瀬 亜富 氏</p> <p>弁理士法人内田・岐島法律事務所 弁理士</p> <p>技術情報の管理は、大別して特許化とノウハウ保護に分類されるが、あらゆる分野で技術がコモディティ化している昨今、後者の比重が事業競争力の維持という観点で増している。本講においては、技術のコモディティ化の意義について定義し、その環境の中で特許化の比重が全体的に小さくなっていくという構造的変化を明らかにするとともに、ノウハウ保護の具体的な方法論について、経済産業省の発行した管理指針や最新判例をベースに論じる。 講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 技術コモディティ化とその環境下での知財マネジメントのあり方 (2) 営業秘密とは ~裁判例に見る有用性、非公知性、秘密管理性~ (3) 営業秘密管理指針と裁判例の実態 (4) あるべき営業秘密管理の程度 ~実態に即した管理~ 	<p>理論と実践</p> <p>理論と実践 ~営業秘密流出の実態から考える営業秘密管理~</p> <p>講師</p> <p>岡田 大輔 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 シニアアナリスト 公認不正検査士 企業情報管理士</p> <p>世間を揺るがすほどの大きな営業秘密流出事件に隠れ、表沙汰にならない営業秘密の流出事件が多数存在しています。これらの事件について何が原因でどのように引き起こされるのか、事件の裏側で何が起きているのか、どのような対応がされているのかを解説し、どのような戦略が必要とされるかを考えていただきます。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 営業秘密流出の実態 2. 流出の事例とその原因 3. 流出発覚時における実際の対応 4. 事例から考える流出防止策 5. 質疑応答 	<p>まとめ・ワークショップ</p> <p>営業秘密マネジメント戦略の設計演習</p> <p>講師</p> <p>小林 誠 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 知的財産グループ ヴァイスプレジデント K.I.T.虎ノ門大学院 (金沢工業大学大学院) 客員教授 AIPPE認定知的財産アナリスト</p> <p>岡田 大輔 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 シニアアナリスト 公認不正検査士 企業情報管理士</p> <p>本講義は、仮想企業における営業秘密マネジメント戦略の設計に関するワークショップを通じて、本講座 (科目0~9) において修得した知識を活用しながら、トレードシークレット・マネージャーとしての実践的な活躍の場を想定することで、知識のより深い理解と定着を図ることを目的とする。</p> <p>ワークショップ</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想企業における前提条件と課題説明 2. アイスブレイクセッション 3. グループディスカッション (前半) 4. 中間発表~講評 5. グループディスカッション (後半) 6. 最終発表~講評 7. 事例紹介・まとめ
--	---	--	--

※この講座カリキュラムは2014年9月1日現在のものです。内容は予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

一般社団法人 知的財産教育協会

トレードシークレット・マネージャー養成講座 講義カリキュラム 4日目 (2014年11月12日)

<p>時間割</p> <p>10:10 受付</p> <p>10:30 オリエンテーション</p> <p>10:40</p> <p>7: 個人情報保護</p> <p>講師: 結城 大輔 氏</p> <p>講義時間: 1.5時間</p> <p>12:10</p> <p>昼休憩</p> <p>13:10</p> <p>10: まとめ ワークショップ</p> <p>講師: 小林 誠 氏 岡田 大輔 氏</p> <p>講義時間: 4.0時間</p> <p>※途中適宜休憩を予定</p> <p>17:10</p> <p>講義終了 レポートの説明</p> <p>17:30</p> <p>(懇親会開催を予定)</p>	<p>個人情報保護</p> <p>企業活動における個人情報保護のポイントと実務的論点</p> <p>講師</p> <p>結城 大輔 氏</p> <p>のぞみ総合法律事務所 (パートナー) 弁護士 弁理士・米国ニューヨーク州弁護士</p> <p>営業秘密と密接な関係にある情報として「個人情報」がある。企業が取引先や顧客等の個人情報取得・収集したり、管理・利用したりする場面は様々である。顧客名簿やクレジットカード情報の流出、ビッグデータ活用等、新たな問題が次々と発生する中で、個人情報保護法の改正も予定され、重要度の高い個人情報保護の企業実務に精通することを旨とする。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1 個人情報保護法の概要 (目的、基本概念、営業秘密との関係、具体例) 第2 企業実務における個人情報保護 1 個人情報保護法の適用の有無 2 個人情報の取得・収集 3 個人情報の管理・利用 4 個人情報保護に関する企業の取組み 第3 個人情報保護に関する実務的論点 (クロスボーダー、オンライン/ソーシャルメディア、漏えい・流出等) 第4 質疑応答 	<p>まとめ・ワークショップ</p> <p>営業秘密マネジメント戦略の設計演習</p> <p>講師</p> <p>小林 誠 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 知的財産グループ ヴァイスプレジデント K.I.T.虎ノ門大学院 (金沢工業大学大学院) 客員教授 AIPPE認定知的財産アナリスト</p> <p>岡田 大輔 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 シニアアナリスト 公認不正検査士 企業情報管理士</p> <p>本講義は、仮想企業における営業秘密マネジメント戦略の設計に関するワークショップを通じて、本講座 (科目0~9) において修得した知識を活用しながら、トレードシークレット・マネージャーとしての実践的な活躍の場を想定することで、知識のより深い理解と定着を図ることを目的とする。</p> <p>ワークショップ</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想企業における前提条件と課題説明 2. アイスブレイクセッション 3. グループディスカッション (前半) 4. 中間発表~講評 5. グループディスカッション (後半) 6. 最終発表~講評 7. 事例紹介・まとめ 	<p>まとめ・ワークショップ</p> <p>営業秘密マネジメント戦略の設計演習</p> <p>講師</p> <p>小林 誠 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 知的財産グループ ヴァイスプレジデント K.I.T.虎ノ門大学院 (金沢工業大学大学院) 客員教授 AIPPE認定知的財産アナリスト</p> <p>岡田 大輔 氏</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 シニアアナリスト 公認不正検査士 企業情報管理士</p> <p>本講義は、仮想企業における営業秘密マネジメント戦略の設計に関するワークショップを通じて、本講座 (科目0~9) において修得した知識を活用しながら、トレードシークレット・マネージャーとしての実践的な活躍の場を想定することで、知識のより深い理解と定着を図ることを目的とする。</p> <p>ワークショップ</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想企業における前提条件と課題説明 2. アイスブレイクセッション 3. グループディスカッション (前半) 4. 中間発表~講評 5. グループディスカッション (後半) 6. 最終発表~講評 7. 事例紹介・まとめ
--	---	--	--

※この講座カリキュラムは2014年9月1日現在のものです。内容は予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

一般社団法人 知的財産教育協会